

新上五島町上五島地区定置網漁業ビジネスモデル計画

【策定：新上五島町上五島地区雇用型漁業ビジネスモデル構築推進・普及会議】

背景

本町において定置網漁業は主要漁業の一つであり、雇用の場としても大きな役割を担っている。標記ビジネスモデルを実践する経営体は、定置網、ブリやカンパチ等の養殖、卸・小売部門による多角経営を行っているが、定置網の漁獲量減少や養殖の収益悪化等の課題に直面しており、今後、安定した経営を維持していくためには、定置網の改良、養殖対象魚の絞り込み、卸・小売部門の新たな展開による付加価値向上、観光定置の導入に取り組み、収益性の高いビジネスモデルを構築する必要がある。

課題

1. 定置網の漁獲低迷

- 水深が深く波浪が強い
ため、網なりの保持が
難しく漁獲量は伸び悩み

2. 養殖の収益悪化

- 5魚種を7生簀で養殖
- 作業人員が不足し管理が
不十分となり成長が遅延

3. 付加価値の向上、 多角化の推進

- 小型のアジ等は餌用
として安価に販売
- 島内に観光定置が不足

4. 労働力の不足

- 各部門の作業員が不足
- 作業時間等、就労時間
の改善が必要

取組の方向性

「定置網の改良による漁獲量の増加」、「養殖部門の収益向上および省力化」、「卸・小売部門の新たな展開による付加価値の向上」、「雇用の確保・雇用条件の改善」等を行い、収益性の高いモデル経営体を目指す。

計画内容

① 定置網の改良※

- 箱網を2→1段に変更・容積拡大
- 側張りの改善、登り網の傾斜緩和、網染め
→ 漁獲増、時間短縮・省力化

② 養殖の収益向上および省力化

- 養殖魚を5→2魚種に削減（ブリ、サバ）
→ 収益向上・省力化、コスト削減

③ 卸・小売部門の新たな展開

- 低利用魚を島内の水産加工業者向けに販売
- 島内外の鮮魚仲買等へ鮮魚を安定供給
→ 付加価値向上

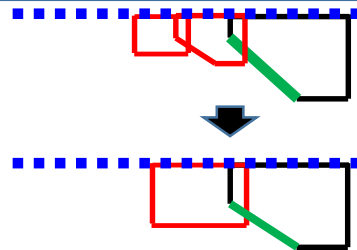
④ 観光定置の導入

- 夏季限定の観光定置を開始
→ 収益向上、体験型観光資源の増加

⑤ 雇用の確保・雇用条件の改善

- 経営の多角化等に伴う雇用者2名増加
- 従業員の労働時間短縮（8→7.5 h）

※①で県支援事業活用予定



- ① 箱網を2→1段へ変更
箱網の容積拡大
登り網の傾斜緩和



● 新上五島町上五島漁場



- ③ 低利用魚を水産
加工業者等に販売



- ④ 観光定置の導入

～ 地域を牽引するビジネスモデルへ～

- 収益性の向上、省力化
- 関連産業との連携による島の活性化
- 雇用の確保と就労環境改善

KPI (重要成果指標)

- 付加生産額
(営業利益・人件費・減価償却費)
- 雇用者数

基準年（直近3年平均）

H33（目標年）

32,300 千円 → 39,640 千円

※（ ）内は臨時従業員

4人(2人) 雇用 → 5人(3人) 雇用※